

令和7年度 夏の造形研修会＜研修内容＞ 8月1日(金)

主催：名古屋市造形教育研究会

第1部 公開模擬授業 【13:00～】

参観される先生方に児童・生徒役になってもらい、授業に参加していただきました。

研修会テーマ

『 学びのコンパスに即した これからの図工・美術の授業づくり 』

○小学校低学年

「すきまちゃんの すきな すきま」(小1)

【学びのコンパス】「自分に合ったペースや方法で学ぶ」

授業者：花井聡一郎 (福田小)



○小学校高学年

「水から発見 ここきれい！」(小5)

【学びのコンパス】「多様な人と学び合う」

授業者：山田祥太郎 (楠小)



○中学校

「水墨画を描いて短編アニメーションにしよう」(中2)

【学びのコンパス】「多様な人と学び合う」

授業者：井本 由加 (白山中)



第2部 アイデアミニ講座 【14:20~】

○小学校低学年 エコキャップであそぼう！

講師：大島 聖矢（明正小）

エコキャップを活用した造形遊びを体験し、育てたい資質・能力や評価の在り方について学ぶ。



○小学校高学年「行為」を通して材料と向き合うミニ題材 講師：佐々木めぐみ（広見小）

紙バンドを切る、曲げる、裂くなど様々な行為で加工し、「ビビッとアートコレクション」をつくる。感覚を働かせて、意味や価値をつくりだすことを学ぶ。



○中学校 対話から生み出す模様を楽しむ造形活動 講師：石谷和佳子（森孝中）

様々な模様が描かれた正6面体を、グループで並べたり、積んだりして組み合わせの模様を楽しみながらつくる。多様な人と対話・協働する意義を学ぶ。



第3部 造形講演会 【15:10～】

演題 「これからの造形教育を考える」

【講師】

元文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科

造形学専攻 教授 岡田 京子 氏



「ナゴヤ学びのコンパス」をよりいっそう推し進めるために「個別最適な学び」「協働的な学び」をいかに取り入れ、子どもたちの可能性を引き出していくか、具体的な実践例を紹介していただきながら、ご講演をいただきました。



【参加者から、夏の造形研修会についての感想等】

- 貴重な機会をありがとうございました。大変学びの多い模擬授業でした。
- 毎年、いろいろなアイデアやアプローチの仕方を新しく学べて楽しめています。いつも準備をありがとうございます。
- 造形をなかなか選ばないことが多かったのですが、ひと工夫すれば子どものアイデアを膨らませることになることが分かった。
- 水墨画の講座にとっても満足しました。ただ、発表の時間をもっととってもらい、全員の作品の鑑賞が良かったです。
- 講演で、学習指導要領をしっかりと読み取って教材研究をしたいと思った。
- 学習指導要領をつくられた方のお話は分かりやすくてためになった。なごや学びのコンパスは「学び方である」「あくまで子どもの資質・能力の育成が大切だ」と明言してくださり、共感できた。
- 子どもたちの疑問や気持ちを大切にしつつ、感性を育てていくことが大切だと感じました。

令和7年度 夏の造形研修会＜研修内容＞ 8月1日(金)

主催：名古屋市造形教育研究会

第1部 公開模擬授業 【13:00～】

参観される先生方に児童・生徒役になってもらい、授業に参加していただきます。

研修会テーマ

『 学びのコンパスに即した これからの図工・美術の授業づくり 』

○小学校低学年 授業者：花井聡一郎（福田小）
「すきまちゃんの すきな すきま」（小1）
【学びのコンパス】「自分に合ったペースや方法で学ぶ」

○小学校高学年 授業者：山田祥太郎（楠小）
「水から発見 ここきれい！」（小5）
【学びのコンパス】「多様な人と学び合う」

○中学校 授業者：井本 由加（白山中）
「水墨画を描いて短編アニメーションにしよう」（中2）
【学びのコンパス】「多様な人と学び合う」

☆ 授業のポイント

- 学びのコンパスの要素を取り入れる
- 身に付けさせたい力を明確にする
- 着目させたい造形的な特徴を明確にする

第2部 アイデアミニ講座 【14:20～】

○小学校低学年 講師：大島 聖矢（明正小） エコキャップであそぼう！
エコキャップを活用した造形遊びを体験し、育てたい資質・能力や評価の在り方について学ぶ。

○小学校高学年 講師：佐々木めぐみ（広見小） 「行為」を通して材料と向き合うミニ題材
紙バンドを切る、曲げる、裂くなど様々な行為で加工し、「ビビッとアートコレクション」をつくる。感覚を働かせて、意味や価値をつくりだすことを学ぶ。

○中学校 講師：石谷和佳子（森孝中） 対話から生み出す模様を楽しむ造形活動
様々な模様が描かれた正6面体を、グループで並べたり、積んだりして組み合わせの模様を楽しみながらつくる。多様な人と対話・協働する意義を学ぶ。

第3部 造形講演会 【15:10～】

演題 「 これからの造形教育を考える 」

【 講 師 】

元文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科
造形学専攻 教授 岡田 京子 氏



「ナゴヤ学びのコンパス」をよりいっそう推し進めるために「個別最適な学び」「協働的な学び」をいかに取り入れ、子どもたちの可能性を引き出していくか、具体的な実践例を紹介していただきながら、ご講演をいただきます。ぜひご参加ください。